

Contents

1. 男子インカレ結果
2. 東日本大学対抗戦結果
3. オンライン予餞会模様
4. 2020年度各賞被表彰者
5. 新入部員オンライン歓迎会模様
6. 新入部員紹介
7. 総会結果報告
8. 寄付者ご芳名
9. ご支援のお願い
10. 年会費自動引き落としに関するお知らせ
11. 訃報
12. 寄稿・追悼
13. 今後の活動予定



男子インカレ終了後の集合写真

男子インカレ結果

3月6日～7日、埼玉県上尾市のスポーツ総合センターで男子のインカレ I 部が開催されました。4年生の木村勇喜選手が個人優勝を果たしチームを牽引。10人のうち5人がメダルを獲得するなど健闘し、団体戦で3位入賞の好成績を収めました。

【男子】団体戦 優勝：日本大学 2位：九州国際大学 3位：早稲田大学

令和2年度文部科学大臣杯 第66回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会												
階級	選手名	学部学年	体重	BEST						TOTAL		
				S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
M61	上野大瑚	スポ3	60.7	98	8位	1	127	7位	2	225	7位	2
M61	宮下一心	社学2	61	102	5位	4	134	3位	6	236	4位	5
M67	木村勇喜	スポ4	66.55	125 CS	1位	8	151	1位	8	276	1位	8
M67	知念勇樹	スポ4	66.85	108	9位	0	0	-	-	0	-	0
M73	生頼啓暉	スポ3	72.95	127	3位	6	161	2位	7	288	2位	7
M73	西川和真	スポ1	72.95	116	6位	3	150	3位	6	266	3位	6
M81	西野溪心	スポ3	80.65	134	2位	7	155	5位	4	289	2位	7
M81	駒阪勇氣	スポ1	79.05	123	6位	3	159	2位	7	282	4位	5
M109	柏木良太	スポ2	103.85	140	1位	8	168	4位	5	308	3位	6
M109+	西堅也	スポ2	134.05	132	4位	5	169	6位	3	301	5位	4
											143	

総合3位

【学部表記凡例】 スポ：スポーツ科学部 社学：社会科学部 ※学年は大会開催当時
【記録表記凡例】 C：大会 R：新記録 S：タイ記録



67kg級・木村勇喜選手



81kg級・西野溪心選手

東日本大学対抗戦結果 (1/2)

7月2日～4日、新潟県津南町のニューグリーンピア津南で東日本大学対抗選手権大会が開催されました。男子は団体戦で3位入賞。今回初の開催となった女子はインカレ覇者の東京国際大学を抑えて見事団体戦優勝を果たしました。

男子を代表して主将の生頼啓暉選手（スポーツ科学部4年）と女子を代表して吉武温子選手（スポーツ科学部3年）のお二人に、大会を終えての感想を寄せてもらいましたのでご紹介します。

東日本大学対抗戦を終えて、まだまだ実力不足だということを痛感しました。

個人としては、C&ジャークで5kg新となる175kgを挙げられたことは素直によかったと思いますが、スナッチに関しては記録、内容に関しても、まだまだ努力が足りていないと感じました。

チームとしては、実力を出せたメンバーもいれば、出せなかったメンバーもいる中で、団体3位とまずまずの結果ではありましたが、目標としていた優勝からは程遠かったと感じました。前期の総決算としての東インカレを終えた今、次は12月のインカレに向けて、まだまだ力をつけていかなければなりません。チーム全体で、普段から試合を意識した緊張感のある練習を行い、誰が出場したとしても、ここ1番の場面で力を発揮できるようになっていけるよう精進していきます。

今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。



M81kg級・生頼啓暉選手

はじめに、東日本インカレに臨む上で沢山のご声援、サポート、ありがとうございました。

今大会、女子の開催は今回が初めてであり、その記念すべき大会で第一回目の女子団体優勝チームになれたこと、またそのメンバーの一人として個人優勝という形で貢献できたことを嬉しく思います。

その一方で、両手を挙げてこの結果を喜ぶことができないというのも事実です。個人としては、スナッチ3本目の失敗、ジャークの3本目を成功させればスナッチ・トータルと合わせて点を取りこぼさずに優勝できた場面で失敗してしまうという勝負弱さがあったこと、団体としても全体の成功率が決して良いとは言えない内容だったことは次への大きな課題と感じています。

今回の反省を踏まえ、12月の全日本大学対抗選手権では「チャンピオンチーム」と呼ばれるのに相応しい、他を圧倒する力をつけて団体優勝できるように頑張っ参りますので、どうぞ応援よろしくお願いいたします。



W81kg級・吉武温子選手

東日本大学対抗戦結果 (2/2)

【男子】団体戦 優勝：法政大学 2位：日本大学 3位：早稲田大学

令和3年度 第49回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会												
階級	選手名	学部学年	体重	BEST						TOTAL		
				S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
M61	宮下一心	社学3	60.88	104	4位	5	135	2位	7	239	4位	5
M73	西川和真	スポ2	71.85	117	4位	5	147	5位	4	264	5位	4
M81	生頼啓暉	スポ4	75.75	128	3位	6	175 CR	1位	8	303 CR	1位	8
M81	駒阪勇氣	スポ2	79.75	128	2位	7	160	2位	7	288	2位	7
M89	西野溪心	スポ4	82.05	131 CR	2位	7	157	4位	5	288	3位	6
M89	小山秀斗	スポ1	83.1	120	5位	4	156	5位	4	276	5位	4
M96	岡村幸尚	社学4	95.5	131	3位	6	160	4位	5	291	4位	5
M102	田中稜真	スポ1	101	111	8位	1	140	6位	3	251	8位	1
M109	柏木良太	スポ3	105	137	2位	7	172	4位	5	309	4位	5
M109+	羽田創	スポ1	114.15	120	5位	4	156	5位	4	276	5位	4
総合3位												153

【女子】団体戦 優勝：早稲田大学 2位：東京国際大学 3位：日本体育大学

令和3年度 第49回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会												
階級	選手名	学部学年	体重	BEST						TOTAL		
				S	順位	点数	C&J	順位	点数	記録	順位	点数
W45	鈴木莉乃	スポ3	44.65	61	1位	5	83	1位	5	144	1位	5
W55	原沙織	スポ3	54.7	78	1位	5	101	1位	5	179	1位	5
W59	木村咲紀	社学2	58.7	80	2位	4	98	2位	4	178	2位	4
W71	伊藤紗彩	スポ2	68.44	81	3位	3	101	3位	3	182	3位	3
W76	西村深聡	スポ4	72.04	84	1位	5	107	2位	4	191	2位	4
W76	田中美奈	スポ2	75.02	84	2位	4	108	1位	5	192	1位	5
W81	吉武温子	スポ3	79.14	91	1位	5	112	2位	4	203	1位	5
W87+	吉田琴乃	スポ2	103.2	80	2位	4	100	2位	4	180	2位	4
総合優勝												104

【学部表記凡例】 スポ：スポーツ科学部 社学：社会科学部
 【記録表記凡例】 C：大会 R：新記録 S：タイ記録



大会終了後の集合写真

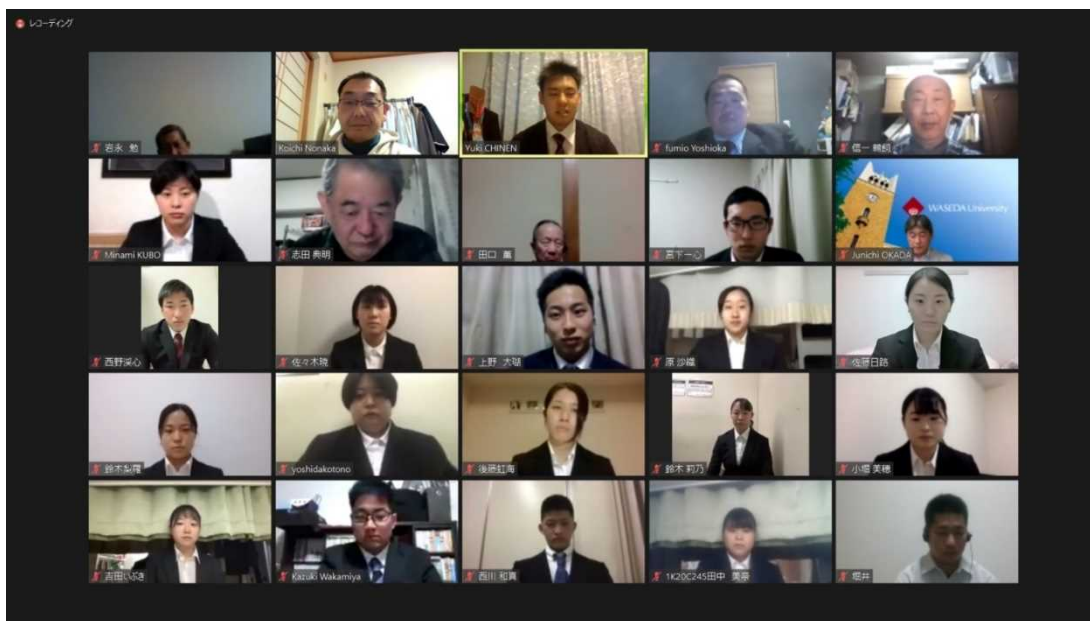
オンライン予餞会模様

3月20日、オンライン予餞会を開催しました。一年前予餞会が見送りとなったR02卒を代表して田中裕也先輩が宮崎から参加するなど、コロナ感染防止のため参集できない部員と指導スタッフ、OB・OGがWeb会議システムZoom上で一堂に会し、昨年8月のリモート交流会以来約半年ぶりの交流機会となりました。

奥村主務からR02卒3名と卒部生8名の紹介があり、岡田部長、志田会長からコロナ禍の制約がある中で発揮されたリーダーシップと男・女インカレの成果に対して称賛と労いの言葉がかけられました。

2020年度のMVPと新記録樹立選手表彰に続き記念品の贈呈が行われ、田中先輩と卒部生一人ひとりが記念品に選んだ写真の説明とともに早稲田で過ごした4年間を振り返りながら部や競技に対する思いや今後に向けた決意を語ってくれました。

最後はOB・OG参加者を代表して池永知樹先輩（H02卒）から激励の言葉をいただいたのち、早稲田アスリート宣言で締めました。



卒部生氏名（学部）

R02卒：田中裕也（スポーツ科学部）吉田旭（社会科学部）新川百音（スポーツ科学部）
 R03卒：木村勇喜（スポーツ科学部）知念勇樹（スポーツ科学部）橋本拓実（社会科学部）
 若宮知輝（スポーツ科学部）鈴木梨羅（スポーツ科学部）本澤瑞紀（社会科学部）
 戸田妃乃子（スポーツ科学部）前田早菜（社会科学部）

2020年度 MVP表彰

女子

順位	氏名（学年）	トータル
1位	久保 美波（2年）	44kg
2位	吉武 温子（2年）	39kg
3位	佐々木 暁（1年）	35kg

男子

順位	氏名（学年）	トータル
1位	西野 溪心（3年）	108kg
2位	知念 勇樹（4年）	100kg
3位	西川 和真（1年）	87kg

2020年度 新記録樹立選手表彰

区分	達成者	階級	種目	記録
ジュニア日本公認最高記録【女子】	吉田いぶき	55kg級	C&ジャーク	108kg

早稲田ウエイトリフティングの今後さらなる発展に向けた選手激励のため、公認最高記録樹立達成を表彰し、副賞を授与します。副賞は以下のとおり授与します。

- ・日本公認最高記録 10,000円相当
- ・大学公認最高記録 5,000円相当
- ・ジュニア日本公認最高記録 5,000円相当

2020年度各賞被表彰者

2020年度わが部の被表彰者をご紹介します。卒部生は4名が「小野梓賞」を受賞（同時4名は部として初）、男女両主将は「優秀学業個人賞」も併せて受賞されました。
被表彰者の皆さん、誠におめでとうございます。

ウエイトリフティング部 被表彰者（敬称略）

【優秀学業個人賞】 鈴木梨羅 若宮知輝 知念勇樹
【小野梓賞】 木村勇喜 鈴木梨羅 知念勇樹 戸田妃乃子
【個人名誉賞】 木村勇喜 鈴木梨羅 戸田妃乃子 鈴木莉乃 吉武温子
【団体奨励賞】 ウエイトリフティング部（女子）
【監督表彰】 吉岡史生

（『早稲田スポーツ年鑑 2020』より）

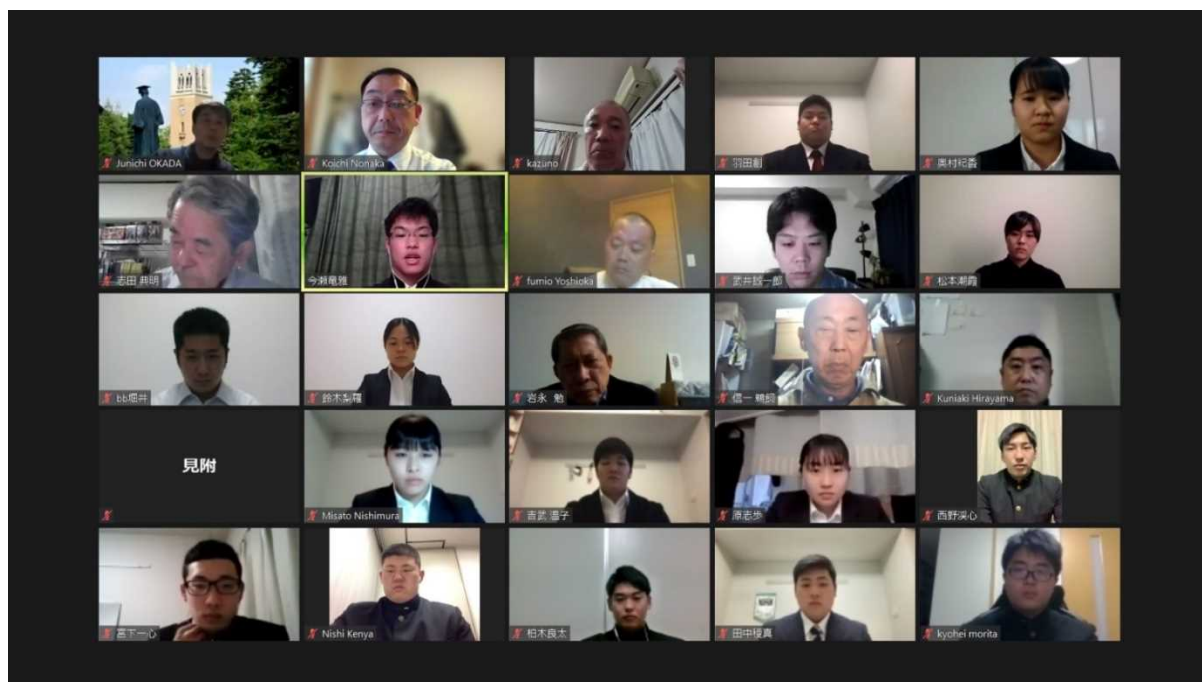
新入部員オンライン歓迎会模様

5月23日、新入部員オンライン歓迎会を開催しました。

歓迎会は奥村主務による新入部員紹介と岡田部長、志田会長の挨拶で始まり、指導スタッフとOB・OG参加者紹介の後、野中幹事長から当会の体制や部活動支援の取り組みについて紹介を行いました。

続いて、新入部員参加者一人ひとりが自己紹介と抱負を述べた後、堀井コーチによるインタビュー形式でナショナルチーム女子メンバーの松本潮霞先輩（H26卒）と見附絵莉先輩（H27卒）から体験談を聴くとともに部員に向けて激励の言葉をもらいました。併せて2019年度に女子71kg級スナッチ100kgの日本最高記録を更新した見附先輩の新記録樹立表彰を行いました。

最後はOB・OG参加者を代表して鶴飼信一先輩（S46卒）から歓迎と激励の言葉をいただいたのち、生頼啓暉主将リードのもと参加者全員で早稲田アスリート宣言を復唱して締めました。



新入部員紹介 (1/2)

今年度は男子4名・女子2名の計6名の新入部員を迎えました。将来活躍が期待される新人たちに以下の質問を投げかけてみました。プロフィールと合わせてご覧ください。

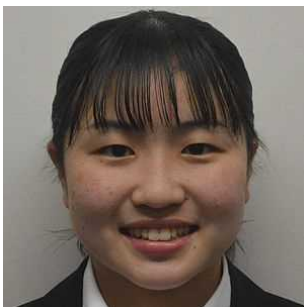
- ① なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思った？
- ② 試合で注目してほしいところは？
- ③ 早稲田に来て驚いたことは？
- ④ 今後の目標は？



橋本 夏実
(はしもと なつみ)

学部：スポーツ科学部
出身高校：東京都・日大鶴ヶ丘高校
階級：59/64kg級
ベスト：S:80kg/C&J:104kg

- ① 高いレベルでウエイトリフティングをやりたいかったのと、将来の夢を叶える見通しがしっかりと立てられそうだったから
- ② パワフルなところ
- ③ 先輩方の面倒見がとても良いこと
- ④ 団体でも個人でも大学日本一になること



原 志歩
(はらしほ)

学部：スポーツ科学部
出身高校：群馬県・前橋育英高校
階級：55/59kg級
ベスト：S:78kg/C&J:95kg

- ① 自分が強くなるために沢山の刺激を貰えると考えたから
- ② C&Jにおけるジャークの安定感
- ③ レベルの高さ、先輩・コーチが適切なアドバイスをしてくださること
- ④ チームに必要とされる選手になり、インカレ優勝



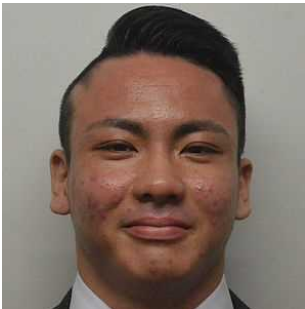
新入部員紹介 (2/2)



今瀬 竜雅
(いませ りゅうが)

学部：スポーツ科学部
出身高校：愛知県・愛工大名電高校
階級：89kg級
ベスト：S:115kg/C&J:150kg

- ① 学業も部活動もトップレベルのものに触れられると思ったから
- ② スナッチの入り込み
- ③ 人間関係の近さ
- ④ インカレ優勝!!



小山 秀斗
(こやましゅうと)

学部：スポーツ科学部
出身高校：山梨県・白根高校
階級：89kg級
ベスト：S:123kg/C&J:160kg

- ① レベルの高い環境で練習をすることで、自分自身のレベルアップができたと思ったから
- ② 相手との重量の駆け引き
- ③ 先輩との距離が近く、先輩が優しい事
- ④ 記録大幅更新、全日本インカレ3位以内



田中 稜真
(たなかりょうま)

学部：スポーツ科学部
出身高校：福井県・若狭東高校
階級：102kg級
ベスト：S:128kg/C&J:152kg

- ① 自分の性格に一番合っていると思ったから
- ② ジャークがほかの人とは少し違うところ
- ③ 全国トップレベルの選手が集まっているので練習に対する意識の高さに驚きました
- ④ 記録を更新し続けること、全日本インカレ優勝



羽田 創
(はねだ そう)

学部：スポーツ科学部
出身高校：北海道・士別翔雲高校
階級：+109kg級 ベスト：S:125kg/C&J:160kg

- ① 近年早稲田大学ウェイトリフティング部で重量級選手のインカレ優勝、また上位入賞が果たせていないため、自分が成し遂げるといった思いがあったから
- ② 他大学への鋭い目つき
- ③ 部内の学年問わずに深いコミュニケーションを取れている光景
- ④ 「チャンピオンは羽田創しか似合わない」と言われるような選手になること

2020年度総会報告

新型コロナウイルスの影響により2020年度総会も昨年同様集まったの開催が困難な状況となりました。先般ご案内のとおり、会員の皆さまにメール配信・郵送にて資料をお配りし、付議事項等の報告を行うことで開催に替えさせていただきました。皆さまのご理解とご協力に感謝申し上げます、謹んで結果をご報告いたします。

- 資料送付（総会参加）会員数： 210名
内訳： メール送付170名、郵送40名
- 審議事項（全5項目）結果： 賛成（議長＝会長一任）多数、反対0件

以上の結果について6月27日、志田典明会長に報告を行い、決議いたしました。

なお、以下に総会資料の目次を掲載いたします。付議事項の要旨につきましては先般送付させていただいた総会資料をご確認いただきますようお願い申し上げます。

資料の再送をご希望の場合は、H01卒・野中弘一（幹事長）宛てにご連絡ください。

◆ 2020年度総会資料目次

1. 会長あいさつ（2頁）
2. 審議事項
 - 2-1. 2020年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件（3-6頁）
 - 2-2. 女子インカレ金沢遠征に向けた助成金の募金に関する件（7頁）
 - 2-3. 2020年度新記録樹立選手に対する褒賞に関する件（8頁）
 - 2-4. 慶應義塾重量挙部新練習場披露に伴う祝儀抛出に関する件（8頁）
 - 2-5. 2021年度活動計画及び収支予算に関する件（9～11頁）
3. 報告事項
 - 3-1. 指導スタッフのポスト新設等に関する件（12頁）

寄付者ご芳名

部の育成発展並びに当会の運営に対し多大なるご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

■ 部遠征等助成金・寄付 ※女子インカレ北九州遠征助成金を含みます

- 200,000円 高橋明(S46・故人)
- 100,000円 野中弘一(H01)
- 90,000円 谷川吉史(S45)
- 50,000円 岩永勉(S47)・志田典明(S51)
- 30,000円 熊倉英次郎(S35・故人)・岡田正三(S45)
- 20,000円 田口薫(S42)・村岡芳彦(S44)・森武彦(S45)・牧野雄児(S46)・石橋義久(S51)
・相場浩徳(S58)
- 10,000円 澤田亨(副部長)・鈴木伊能勢(S43)・内村正月(S44)・森浩一郎(S45・故人)
・鷲田徹夫(S49)・海崎良仙(S54)・松澤晋(S59)・清水大輔(H11)
- 8,000円 高橋靖夫(S57)

◆ 指定寄付(ウェイトリフティング部指定)

- 100,000円 雨宮成(H26・故人)
- 70,000円 谷川吉史(S45)
- 50,000円 岩永勉(S47)

ご支援のお願い

総会資料でもご案内のとおり、コロナ禍での部活動継続に向けて2021年度も部財政援助の取り組みを企画いたしました。取り組みの趣旨をご理解の上、皆さまのご協力を賜れますと幸いです。

【女子インカレ金沢遠征に向けた助成金の募金について】

今年度の女子インカレは、12月15日～17日に石川県金沢市で開催される予定です。わが部は女子部員20名を主体とした遠征を計画していますが、往復の交通費と宿泊費だけでも概算で120万円もの費用がかかる見込みです。

一方、大学の強化費制度の見直しに伴い、試合遠征に係る支出に対し強化費を充当できなくなったことに加え、緊急事態宣言ならびにまん延防止等重点措置の実施により、部員が自助のためアルバイトに就くのも厳しい状況です。

女子は2017年以来4年ぶりの団体戦優勝を目指しての対抗戦となります。部員が安心してトレーニングに注力できるよう、経済的負担の軽減に向けて皆さまから広く助成金を募り援助に充てることとします。

なお、募金はOB・OGが対象です。保護者の皆さまはご心配なさらないでください。

【募金目標額】

250,000円 [参考] 一人10,000円×部員25名分（女子20名+トレーナーほか）

【募集金額】

一口5,000円（5,000円以上1,000円単位で任意）

【募集期間】

2021年12月末まで（予定）

【申込方法】

当会口座に直接お振り込みください。

振込先： 金融機関／支店 = みずほ銀行 新宿新都心支店
科目／口座番号 = 普通 8220922
受取人名 = トウモンウエイトリフティングクラブ

年会費自動引き落としに関するお知らせ

年会費自動引き落としをご利用の皆さまへ

年会費の納入について、毎年7月にご指定の口座より振り替えさせていただいておりますが、2021年度分はシステム登録上の都合により一部会員の振替日が「8月」となりますので、お知らせいたします。

【2021年度分 振替日】

2021年 7月27日： 主に2016年（平成28年）以降に自動引き落としを開始された方

2021年 8月27日： 上記以外の方

訃報

熊倉英次郎先輩（S35卒）、高橋明先輩（S46卒・監事）が永眠されました。

長年にわたる当部ならびに当会へのご支援に対し心から感謝申し上げ、哀悼の意を捧げます。

寄稿・追悼 (1/2)

4月に高橋明先輩（昭和46年卒・監事）が永眠されました。

故人と親交があった諸先輩を代表して、水谷吉朗先輩（昭和48年卒）と鷲田徹夫先輩（昭和49年卒）のお二人が追悼文をしたためてくださいましたので、謹んでご紹介させていただきます。

高橋明先輩の思い出

私が高橋明先輩と初めてお会いしたのは確か入学式の後、部の見学に行った時だったと思います。その時同級生の先輩から「ゴリ」、下の先輩から「ゴリさん」と、すごいあだ名で呼ばれていた高橋明先輩の筋肉隆々ぶりはひと際目立っていました。身長150cmそこそこで、体重はその時すでに70kg近くはあったろうと思います。しかも、全身筋肉だらけ。太ももに至っては私の胸よりも太いと思われました。顔つきもものすごくインパクトがあって、この部に入るにはよほど臍を固めないといけないのだと思ったのを覚えています。

入部してからも、ケタ違いに重い重量をいつもさわっていて「こわくて」あまり近づけない感じでした。でも普段は案外気さくらしく、私と同期の正木君はよくゴリ先輩に軽口をたたいて、「バカヤロ、コノヤロ」とよく叱られていました。今でも正木君の一発芸はこの「バカヤロ、コノヤロ」のモノマネです。ゴリ先輩は練習以外ではいろんな遊戯に堪能で、一学年下の大高先輩とよく連れ立っていました。

そんなゴリ先輩が稲毛の下宿屋を一軒丸ごと借りたので、2年生の途中から一年ほど安く同居させてもらいました。日曜日には朝から練習、冬の午後は近くの小学校でラグビーをしました。ボールもって全力で突進してくるゴリさんをタックルで止める練習です。それも正面から。ケガもせず無事に済んだのが今だに不思議です。そんな縁もあって、合宿の時などには森永の牛乳その他をいつも大量に差し入れてくれました。

発病前にはマニラへの旅行にご一緒させてもらいました。いつも大量のマイレージをしっかりと貯めていて、無駄なく無理なく旅行を楽しんで、趣味を中心に退職後の生活を満喫されている感じがしました。発病されてからも「ゴリ会」でよく食事や旅行をご一緒させていただきました。去年暮れ、「蕎麦と温泉」と言うので上田に行ったのが、最後の旅行でした。

誰からも愛されたゴリさんのご冥福を心からお祈りいたします。

合掌

水谷吉朗（S48年卒）



旅行先で、ゴリ先輩と

高橋明先輩を偲んで

2021年4月19日 0時4分 ご家族に見守られ永眠。

『威張らず、飾らず、見栄張らず』誰に対しても公平公正、自然体で接、誰からも慕われていたゴリさんの葬儀参列希望者は、森永乳業関係者だけでも400名以上、販売店の方が多かったそうで、『寅さん』とは一味違う方法で人の心に溶け込んでいく『ゴリさん』の人柄が偲ばれます。

稲門ウエイトリフティングクラブの参列希望者も大勢いましたが前部長の鶴飼さん、志田会長と相談し、通夜に水谷さんと志田、告別式にゴリさんと同期の鶴飼さん、牧野さん、後輩の野口、鷲田に絞らせていただきました。

大勢の諸先輩から可愛がられ、後輩から慕われたのは脅威的威圧的外見からは想像できない、愛嬌のある、憎めない人柄のゴリ先輩でした。

私が1年生の時の主将でしたが、ゴリさんから直接重量挙げの指導を受けた記憶は全くありません。俺の背中を見て学べ！というタイプでした。話題豊富なゴリさんですが、最も記憶に残る思い出2題。

【その1】

早慶定期戦で、ゴリさんはじめ4年生の主力選手が相次いでゼロを食い、楽勝の筈が連勝ストップの危機！？ 控室のベンチで大の字になっていた時、大沼監督が現れ、『高橋！不貞腐れてないで、他の選手のセコンドをやれ！』ゴリさん素早く飛び跳ね、『ハイ！』スゴスゴ会場に向かう後ろ姿は忘れられません。その場に居合わせたのは鶴飼さん、田原、私の3人。大沼監督が本気で怒った姿を見たのはあの時だけです。

(次ページへ続く)

【その2】

ゴリさん卒業の春。新居浜武徳殿合宿解散後の道後の夜。3年の岩永先輩を先頭に4年生はゴリさん、3～1年生10人ほどが連れ立って夜の街へ。人通りの少ない家並み。薄暗い裸電球の6畳部屋。炬燵の上に山盛りのミカン。30歳代？の薄幸そうな女性2人。『今、新しい女性来るからネ！』を初心な我々は信じ込み、代わる代わる2階の部屋に。帰り路、『俺の相手は左頬に刀傷』『俺も…』『俺も…』結局、あの夜からゴリさんは同じ穴の貉？部員数人は義兄弟になりました。

森永乳業退職後は一人旅を楽しんでいました。『世界2周一人旅』は記憶に残ります。携帯紛失等トラブル続出だったようですが、電子辞書があるとは言え、やはり人間離れ？した神業です。

コロナ騒動が起こる前まで在京OB：ゴリさん、水谷さん、野口、岡田文男（S49卒・故人）、志田、伊藤と私、6～7人で毎年熱海梅園の温泉に行く事が恒例でした。昨年来、ミニOB会、早慶定期戦、インカレ、年末の源兵衛忘年会が中止になり、2018年全日本マスターズ応援を兼ねた和歌山旅行が最後になってしまったOBの方々も大勢いらっしゃると思います。

昨年8月の田原故郷浜田・萩津和野旅行は間際入院。入退院を繰り返すなか10月に、「単独ではなく、群れで行動した方が…」という周囲の心配を他所に、『みちのく一人旅』を決行。『風呂場に写真持ち込みは捕まりますよ！』の忠告を無視し、連日風呂場からの絶景、ゴリさんのパンツ姿の写真をLINEしてきました。幸い携帯電話を紛失し、逮捕はされずに済みましたが…。

その後、ゴリさんの希望があり、合間を縫って企画しましたが、11月那須塩原、12月大間マクロ食す旅、叶いませんでした。その度に『入院すると儲かるから』と数万円の寄付をいただきました。

そのメンバーでTWTM（稲門WEIGHTLIFTING TRAVEL MASTERS…野口名付け）と言うグループLINEを起し、内容は取り留めのない事を日々連絡を取り合っていました。早稲田愛が強く、ラグビー、駅伝関連の内容が多く、暇で調子の良い時は、ラグビーのLINE中継してくれました。病室の窓からの富士山江ノ島の写真を転送してくれました。

『私もこの病院では牢名主的立場に成り、海の見える一等室にいます。石原慎太郎の気分です。目の前に江ノ島、はるか彼方に富士山も見えます。此処は最高です。只、食べたいものが食べられないのが辛い。今はラーメンが無性に食べたいです。』（2月1日、ゴリさんLINE）

ひよんな事から私が描いた『田植え』の水彩画を気に入ってくれて、『田舎の親父の実家が農家でしたので子供の頃田植えの経験をしました。残り少ない人生ですから、この絵を見てこれからの困難を乗り越えたいと思います。』（昨年10月30日、ゴリさんLINE）

私が「ゴリさんが結婚した時、ゴリさん家が豪農で借金の形に黒崎村小町と謳われた村の娘を嫁にしたと、鵜飼さんが言っていたのは事実だったんだ！」と、LINEをすると、『鵜飼の言う事を信じるのか？直属上司の牧野を信じなさい！』と、返してきました。

その絵を届けながら、3月13日野口と戸塚にお見舞いに伺いました。念願の豚骨濃厚ラーメンをご馳走になりました。

かなりのボリュームでしたが大盛をじっくり時間をかけて完食しました。奥様には内緒のようでした。

昨年1月に余命1年宣告。その今年1月を乗り越えて3月16日には『もう一度悪あがきを決断しました。湘南鎌倉総合病院が受け入れてくれれば、再入院して辛い治療を試みます。』（ゴリさんLINE）

3月に余命半年の再宣告。ゴリさん本人もご家族も覚悟はしていたようです。

4月6日以降LINEが「既読」にならず、今までならバンバンLINEが来るはずの「松山英樹マスターズ優勝」にも反応なし。

16日からICU個室でご家族の面会解除。18日にご家族全員と会われ、4月19日0時4分、安らかに永眠されました。

戒名【釋 明尊】心よりご冥福をお祈りいたします。



1967年（昭和42年）軽井沢夏合宿にて
前列中央が高橋明先輩（当時1年）

鷺田徹夫（S49卒）

今後の活動予定

部や当会の活動は、現在も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係機関からの指針に従い三密（密閉・密集・密接）を避ける工夫をしながら続けているところです。

競技大会や関連行事についてここに現時点で最新の状況をお知らせしますが、感染拡大が予断を許さない状態ですので今後変更となる可能性があります。どうぞご注意ください。

■ 競技大会（～2022年3月）

大会名	会期	場所	備考
東日本学生個人選手権 東日本学生新人選手権	中止		
早慶定期戦	9月19日(日)	日吉記念館	
国民体育大会	9月30日(木)～10月4日(月)	西野公園体育館 (三重県亀山市)	
全日本マスターズ選手権	10月21日(木)～24日(日)	アミノバリューホール (徳島県鳴門市)	
全日本女子選抜選手権	11月19日(金)～23日(火)	小山市立体育館 (栃木県小山市)	
全日本大学対抗選手権1部 (男子インカレ)	12月7日(火)～9日(木)	サイデン化学アリーナ (埼玉県さいたま市)	
全日本大学対抗女子選手権 (女子インカレ)	12月15日(水)～17日(金)	金沢市総合体育館 (石川県金沢市)	
全日本ジュニア選手権	2月4日(金)～6日(日)	倉敷運動公園 (岡山県倉敷市)	
全日本学生選抜選手権 全日本学生新人選手権	3月3日(木j)～6日(日)	スポーツ総合センター (埼玉県上尾市)	

※ 大会は観戦・応援を目的とした入場に制限が設けられる可能性があります。ご注意ください。

■ 関連行事

行事	日程	場所	備考
バーベル会（早慶親睦ゴルフ会）	中止		
稲門体育会ゴルフコンペ	10月13日(水)	千葉カントリークラブ梅郷コース	後日判断
稲門体育会会員総会	11月26日(金)	リーガロイヤルホテル東京	後日判断